

日産純正部品



ドライブレコーダー

取扱説明書

日産純正部品
ドライブレコーダー
PART No.
G20A0-C9980

ご使用前に必ずお読みください。

ドライブレコーダー機能ガイド

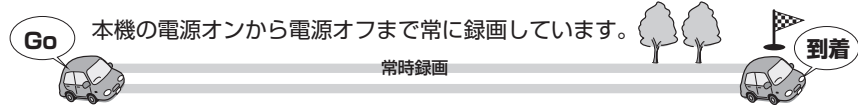
本機は付属の microSD カードにデータを録画保存します。
必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

P.13

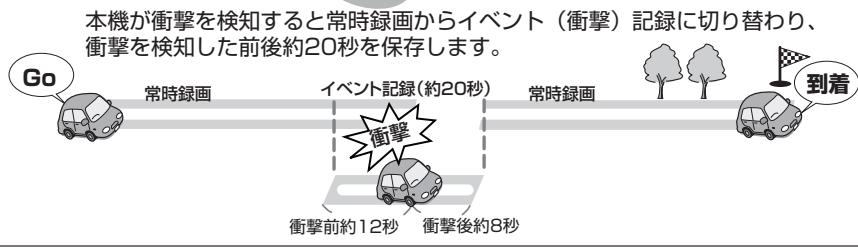
■ 録画機能について

本機は運転している（本機の電源がオンになっている）間の映像を録画することができます（常時録画）。
さらに、運転中や駐車中に車両に大きな衝撃が加わった前後または衝撃後の映像を記録することができます（イベント（衝撃）記録 / 駐車録画モード）。

常時録画（連続録画）モード **P.15**

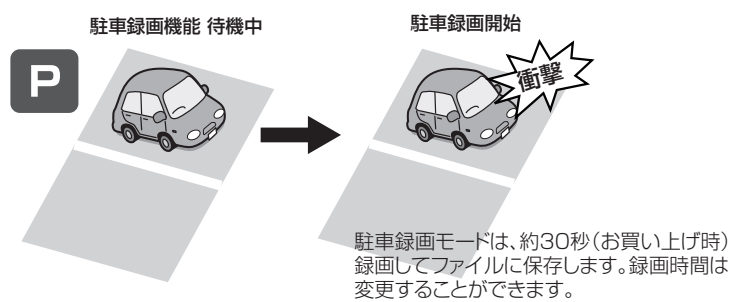


イベント（衝撃）記録モード **P.15**



駐車録画モード **P.18**

駐車場などに車を停めてキースイッチをオフにすると駐車録画モードに入り、車両に衝撃を検知すると録画を開始*します。

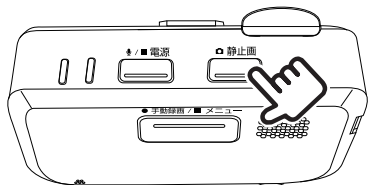


*降車時開始時間設定の間に衝撃があった場合は録画できません。

■ その他の録画機能

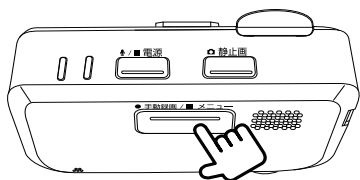
静止画記録：本機の静止画ボタンを押すと、撮影中の映像を静止画として記録することができます。

P.16



手動録画：本機の手動録画ボタンを押すと、映像を手動で録画することができます。

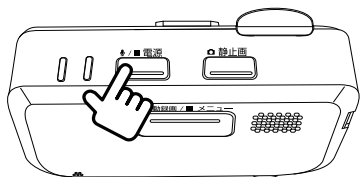
P.16



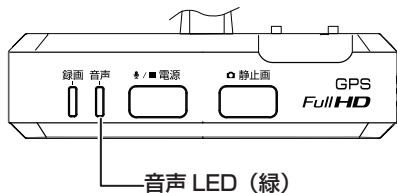
■ 録画時のマイクの音声を設定する

録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

「電源」ボタンを押す



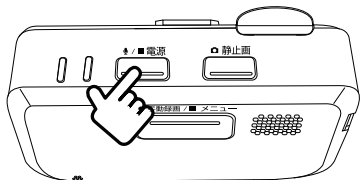
押すたびに「ON」と「OFF」が切り替わります。「ON」に設定されると音声LEDが点灯（緑）します。



■ 本機の電源のみオフにする

車両のエンジンをかけたまま、本機の電源のみをオフにすることができます。また手で電源をオフにすると、次に車両のキースイッチを「ACC」または「ON」にするまで、駐車録画機能はオフになります。

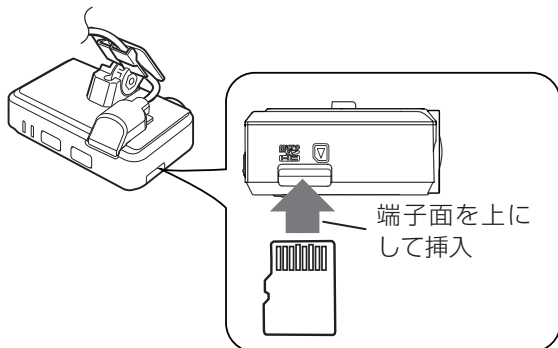
車両のキースイッチが「ACC」または「ON」のときに「電源」ボタンを1秒以上押し続ける



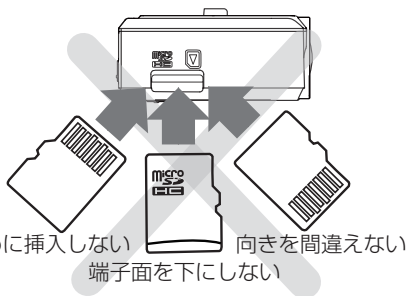
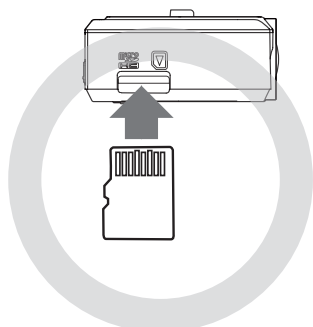
もう一度電源ボタンを1秒以上押し続けると電源がオンになります。

■ メモリーカードを入れる

- 1 車両のキースイッチを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 付属のメモリーカードの端子面を上にして挿入する



メモリーカード挿入時のご注意



■ メモリーカードを取り出す



- 1 車両のキースイッチを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 メモリーカードを押して、メモリーカードが少し飛び出たら引き抜く

目次

| | | | |
|--|----|---------------------------------------|-----------|
| ドライブレコーダー機能ガイド | 2 | メモリーカードのデータをパソコンに バックアップする | 27 |
| 安全に正しくお使いいただくために 6 | | バックアップフォルダーを設定する | 27 |
| 使用上のご注意 | 8 | バックアップした映像を見る | 29 |
| 本機のお手入れ | 9 | ビューアソフトで設定を変更する | 30 |
| 本機の異常にお気づきのときは | 9 | 設定を変更する | 30 |
| 各部の名称とはたらき | 10 | モニターに表示して再生 / 設定する | 32 |
| LED/ 報知音による通知 | 11 | モニターに表示して録画または記録 したファイルを再生する | 32 |
| 電源をオン / オフする | 12 | 再生画面の見かた | 33 |
| 電源をオンにする | 12 | 録画中の画面の見かた | 34 |
| 電源をオフにする | 12 | ファイルを保護または削除する | 34 |
| 本機の電源のみオフにする | 12 | モニターにメニューを表示して設定を 変更する | 36 |
| 本機のバックアップ電源について | 12 | 設定 MENU(メニュー)一覧 | 37 |
| 本機の日付と時刻について | 12 | メモリーカードをフォーマット する | 38 |
| メモリーカードを取り出す / 入れる | 13 | 専用サイトにアクセスして フォーマットする | 38 |
| 録画する | 14 | モニターにメニューを表示して フォーマットする | 39 |
| 画質の種類 | 14 | システムを更新する | 40 |
| 録画時間 / 記録枚数の目安 | 14 | 本機のバージョンを確認する | 40 |
| 電源オン時の録画と記録 | 15 | 専用サイトにアクセスしてシステムを 更新する | 40 |
| 常時録画 (連続録画) モード | 15 | モニターにメニューを表示して システムを更新する | 41 |
| イベント (衝撃) 記録モード | 15 | よくある質問 | 42 |
| 静止画記録 | 16 | 主な仕様 | 45 |
| 手動録画モード | 16 | ソフトウェアについて | 46 |
| 電源オフ時の駐車録画モード | 18 | 保証とアフターサービス | 48 |
| 駐車録画モード | 18 | | |
| フォルダ / ファイル構成 | 19 | | |
| ビューアソフトで再生 / 設定する | 20 | | |
| DRIVE REVIEWER の動作環境 | 20 | | |
| インストールする | 20 | | |
| 準備 | 21 | | |
| ビューアソフトで録画または 記録したファイルを再生する | 21 | | |
| 画面の操作 | 21 | | |
| Google Earth で使用するデータを 出力して読み込む | 26 | | |

安全に正しくお使いいただくために

この取扱書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
|  警告 | 記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。 |
|  注意 | 記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。 |
| 注意 | 記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。 |

警告

- **本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない**
火災や故障の原因になります。DC12V ⊖アース車以外で使用しないでください。
- **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。
- **故障や異常な状態のまま使用しない**
画像が記録できない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に操作したり、表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機やカメラに触れない**
落雷による感電の原因となります。
- **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取付と配線をしない**
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、お買い上げの販売会社に作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。
- **前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けをしない**
交通事故やケガの原因になります。
- **取り付けには保安部品のボルトやナットは絶対に使用しない**
交通事故やケガの原因となります。
- **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は必ずお買い上げの販売店に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。
- **異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する**
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
- **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災、感電、故障の原因となります。
- **機器の通風口や放熱板をふさがない**
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

● microSD メモリーカード挿入口に手や指を入れない

ケガの原因となります。

● microSD メモリーカードは、お子様に触れさせない

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害につながります。また最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 危険な運転はしない

本機が衝撃を検知するかを確認するため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

● コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

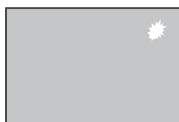
注意

- 本機に付属または純正の microSD メモリーカードを使用してください。付属または純正品以外では正しく動作しないことがあります。
- microSD メモリーカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 車検証シールを貼り替えるときは、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とすなどはしないでください。火災、故障のおそれがあります。
- 本機は直射日光が当たると、高温になり、火傷をする可能性があります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機の固定具およびカメラのコードを強く引っ張らないでください。本機の固定具がはずれた場合は、お買い上げの販売会社へご相談ください。
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。
- 本機の取付場所の変更は、安全のため必ずお買い上げの販売会社に依頼してください。取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付配線は、ケガの原因となります。
- 作業前はバッテリーの⊖端子を外してください。⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を録画 / 記録することを保証したものではありません。

フロントガラスへの取り付けに関し、平成 11 年 12 月 27 日告示の道路運送車両の保安基準第 29 条 4 項 7 号 (国土交通大臣または地方運輸局長が指定したもの) に対する運輸省告示第八百二十号への適合性に対し、保安基準に適合する商品として、当該箇所への装着に対し、車両検査の対象品として基準を満たす商品であることを確認しています。本製品は日産純正品取付要領書の通りに、正しく取り付けされた場合に限り、保安基準に適合いたします。取付要領書の指示以外の取り付け方や、そのほかの改造などを行ったときにその適合性を保証するものではありません。

使用上のご注意

- 高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因になります。夏期については車内が高温になることがありますので窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- カメラレンズの近くに反射物を置かないでください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- コードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



（※）ブルーミング現象：高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- ルームミラーやサンバイザーの調整時、ドライブレコーダーに当たる可能性がありますのでご注意ください。
- 本機の日時や位置情報を定期的に確認してください。日時がずれているときや、位置情報が変わらないときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- microSD メモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に microSD メモリーカードの抜き挿しを行うと、microSD メモリーカードが破損するおそれがあります。
- microSD メモリーカードのデータへのアクセス中（LED が点灯中）は、絶対に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の記録ができないことがあります。
 - 本機に microSD メモリーカードを挿入していない場合
 - microSD メモリーカードの破損、故障、寿命等で正常な記録や読み出しができない場合
 - 本機から microSD メモリーカードを抜いた場合
 - 本機に付属または純正の microSD メモリーカード以外を使用した場合
 - 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
 - 事故や水没などで本機および microSD メモリーカードが損傷を受けた場合
 - 事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の保存ができないことがあります。
 - 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - 本機の本体が適切固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

- 映像が記録されなかった場合や記録されたファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号の状態が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 夜間にナビの画面や、昼間太陽光を反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- フロントガラスの黒色プリントやミラーベースなどが映り込み、映像に残る場合があります。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD メモリーカードの記録が一杯になると古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のキースイッチをオフ（ACC をオフ）にし、microSD メモリーカードを抜いて必要なデータをパソコンに保存するなどの対応を行ってください。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 車両のバッテリーを外すと本機の時計が正しく表示されないことがあります。GPS の情報を受信した次回起動時から正しい時刻になります。バッテリーから外した後は、記録されている映像のファイル名や位置情報で GPS 情報が受信できたかどうかを確認してください。
- microSD メモリーカードは、半永久的に記憶を保持できるものではありません。大切な録画データは、パソコンにコピーするなどのバックアップを行ってください。
- 使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、故障ではありません。使用温度範囲を超えた環境での使用は、故障の原因となりますので使用温度範囲内で使用ください。
- 販売店にて、車両の点検、修理をさせていただく際、お客様の録画データを保護するため、本機の録画を停止させていただく場合があります。

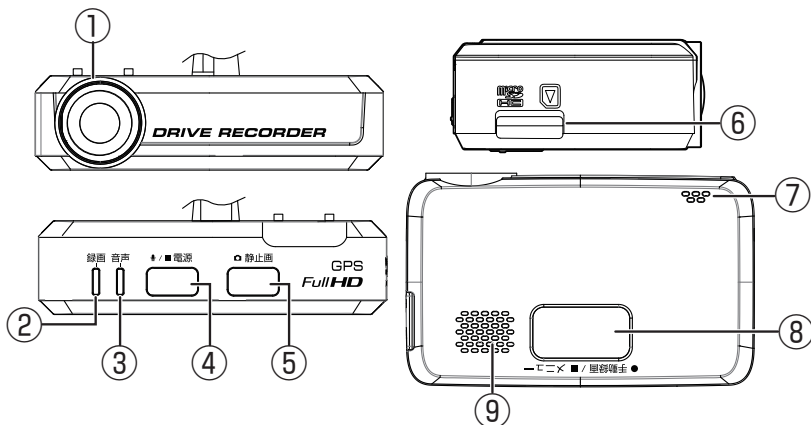
本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず 42 ページの「よくある質問」を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買上げの販売店にてご確認ください。

各部の名称とはたらき



① カメラ

② 録画 LED

録画中に点灯（青色）します。

③ 音声 LED

音声記録 ON 設定時に点灯（緑色）します。

④ 電源ボタン

- 押すたびに音声記録をする / しないを設定します。
- 本機をオフ中に1秒以上押し続けると電源をオンします。
- 本機をオン中に1秒以上押し続けると電源をオフします。

ファイル再生中*：

- 押すと前のファイルを再生します。
- 押し続けると早戻しします。

ファイル再生一時停止中*：

押し続けると逆スロー再生します。

メニュー表示中*：

前の項目に移動します。

⑤ 静止画ボタン

録画時：

静止画を撮影記録します。

ファイル再生中*：

- 押すと次のファイルを再生します。
- 押し続けると早送りします。

ファイル再生一時停止中*：

押し続けるとスロー再生します。

メニュー表示中*：

次の項目に移動します。

⑥ micro メモリーカード（以降、メモリーカード）挿入口

⑦ マイク

録画中の音声を収録します。マイクは本体に内蔵されています。

⑧ 手動録画 / メニューボタン

- 押すと手動で録画します。
- 約3秒押し続けると設定メニューを表示します。*

ファイル再生中*：

- 再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。
- 約1秒押し続けると再生メニューを表示します。
- 約3秒押し続けると録画に戻ります。

メニュー表示中*：

- 項目を決定します。
- 約3秒押し続けると録画に戻ります。

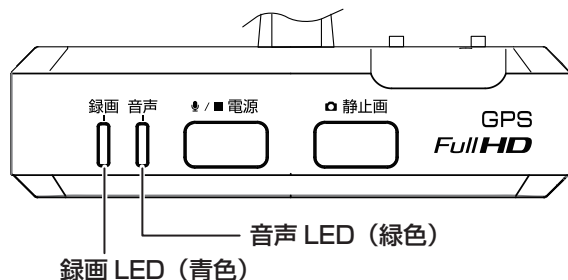
⑨ スピーカー

音声ガイドや報知音、ファイルの再生音声を出力します。

*:日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）接続時に画面を見ながらドライブレコーダーのボタンで操作できます。

LED/ 報知音による通知

LED と音声、報知音で本機の状態をお知らせします。



■ 通常通知 / 駐車時録画

| 条件 | 報知音 | LED | |
|-----------------|----------|---------|---------|
| | | 録画 (青色) | 音声 (緑色) |
| 常時録画開始 | ピコン (↑) | 点灯 | — |
| 常時録画停止 | ピコン (↓) | 消灯 | — |
| 手動録画開始 | ピコン (↑) | 点灯 | — |
| イベント (衝撃) 記録開始 | ピロリン (↑) | 点灯 | — |
| 静止画記録 | カシャ | — | — |
| メニューカーソル送り | ブッ | — | — |
| メニュー項目決定 | ピボン | — | — |
| 駐車録画開始 | ピロリン (↑) | 点灯 | — |
| 駐車録画停止 | ピコン (↓) | 消灯 | — |
| ファイル数制限で記録できず | ダダダダ | — | — |
| 音声記録 ON | ブッ | — | 点灯 |
| 音声記録 OFF | ブッ | — | 消灯 |
| ACC ON 時・駐車録画検出 | ポーン | — | — |

■ エラー通知

| 音声ガイダンス / 警告文 | 異常状態 |
|--|-----------------------------------|
| SD カードがありません (電源オン時にガイダンスしてから3分後に再度ガイダンスします。) | SD カードが入っていない。 |
| SD カードの初期化が必要です | SD カードが不正またはフォーマットしていない。 |
| SD カードエラーです | SD カードが異常または認識できないメモリーカードを挿入している。 |
| 録画を中止しました | 異常検出により録画を停止した。 |

電源をオン / オフする

電源をオンにする

車両のキースイッチを「ACC」または「ON」にすると本機の電源がオンになります。電源がオンになると、録画 LED（青色）が点灯し、常時録画（連続録画）が始まります。

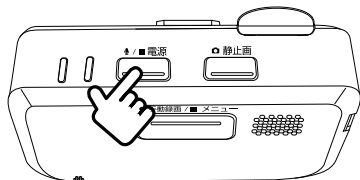
電源をオフにする

車両のキースイッチを「OFF」にすると本機の電源がオフになり、駐車録画モードになります。

本機の電源のみオフにする

車両のエンジンをかけたまま、本機の電源のみをオフにすることができます。また手動で電源をオフにすると、次に車両のキースイッチを「ACC」または「ON」にするまで、駐車録画機能はオフになります。

車両のキースイッチが「ACC」または「ON」のときに「電源」ボタンを 1 秒以上押し続ける



■ 手動で電源をオンにするには

「電源」ボタンを 1 秒以上押し続ける

電源がオンになると常時録画を開始します。

本機のバックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

本機の日付と時刻について

本機の日付と時刻は動画ファイルや写真ファイルのファイル名として反映されます。（→ P.19）また再生画面では記録した時刻が表示されます。日付と時刻は GPS を受信すると、自動で設定されます。

お知らせ

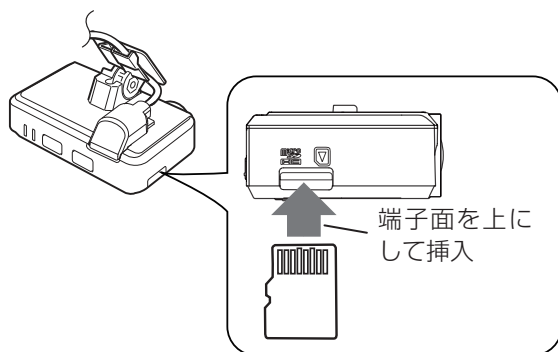
- 以下の場合、GPS を受信するまでは、日付と時刻は表示されません。
 - 購入後、初めて本機の電源を入れたとき
 - 車のバッテリーを外したとき
- GPS を受信できない環境に長時間保管された場合、時刻にずれが生じることがあります。

メモリーカードを取り出す / 入れる

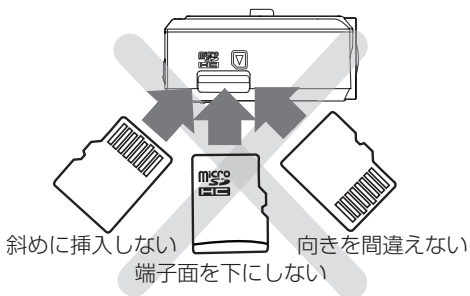
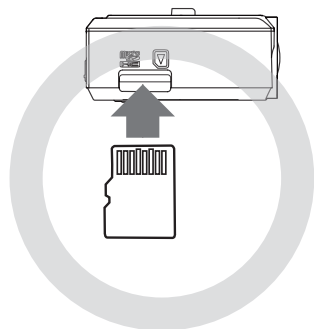
お知らせ

- メモリーカードを取り出すときは、本機の電源がオフ（LEDが消灯）になっていることを確認してください。
- メモリーカードへアクセス中（LEDが点灯）はメモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- メモリーカードを挿入しないと、本機は動作しません。メモリーカードの入れ忘れにご注意ください。

- 1 車両のキースイッチを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 付属のメモリーカードの端子面を上にして挿入する



メモリーカード挿入時のご注意



■メモリーカードを取り出すには

- 1 車両のキースイッチを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 メモリーカードを押して、メモリーカードが少し飛び出たら引き抜く

録画する

本機は、電源オン時に常時録画モード、イベント（衝撃）記録モード、手動録画モード、静止画記録の4つのモードがあります。電源オフ時には駐車録画モードがあります。

お知らせ

- 次の状態のときは録画モードは動作しません。
 - 本機のMENU(メニュー)を表示しているとき
 - 録画したファイルを再生しているとき
 - メモリーカードが挿入されていないとき
 - ファイルの上書き設定が「OFF」に設定されていて、最大保存できるファイル数や時間が最大になったとき

画質の種類

本機は動画を録画するときの画質を設定することができます。

■ 画質の種類（解像度）

「最高画質（1920x1080）12Mbps」 / 「高画質（1920x1080）8.5Mbps」 / 「標準画質（1920x1080）5.2Mbps」 / 「長時間（1280x720）3.2Mbps」

- お買い上げ時は「標準画質（1920x1080）5.2Mbps」に設定されています。
- 設定を変更したいときは31ページまたは37ページの動画画質の設定をご覧ください。
- 静止画は、動画の画質設定が「最高画質」、「高画質」、「標準画質」のいずれかに設定されているときはFULL HD(1920x1080)で保存されます。「長時間」に設定されているときはHD（1280x720）で保存されます。

録画時間 / 記録枚数の目安

付属のmicroSDカード8GBの場合

| 撮影モード | 画質 | | | |
|----------------|--|----------|----------|----------|
| | 最高画質 | 高画質 | 標準画質 | 長時間画質 |
| 常時録画 | 最大 70 分 | 最大 100 分 | 最大 150 分 | 最大 240 分 |
| イベント（衝撃） 記録 | 最大 10 件（1 件あたり 20 秒） | | | |
| 手動録画 | 最大 20 件（1 件あたり 20 秒） | | | |
| 駐車録画 | 最大 20 件（1 件あたり 15 秒 / 30 秒 / 1 分より録画時間を設定することができます。） | | | |
| 静止画 | 最大 100 枚 | | | |

お知らせ

- 録画時間と記録枚数は、メモリーカードに保存されているファイルにより異なります。
- 大切なデータはすぐにパソコンなどへバックアップを行ってください。
- 長時間録画をご要望の方は別売で16GBのメモリーカードをご用意しております。詳しくはお買い上げの販売会社にお問い合わせください。

電源オン時の録画と記録

本機の電源がオンになると常時録画（連続録画）を開始します。

常時録画（連続録画）モード

本機の電源がオンになると、常時録画（連続録画）を開始します。常時録画の録画時間は、画質の設定によります。

お買い上げ時は「標準画質（1920 x 1080）」に設定されています。

- 録画ファイルは 1 ファイル約 2 分ごとに保存されます。
- 画質設定を変更したいときは 31 ページまたは 37 ページの動画画質の設定を変更してください。

お知らせ

- ・メモリーカードの録画領域がなくなると古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。

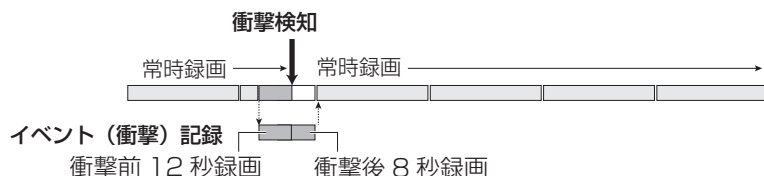
■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。（→ P.19）

イベント（衝撃）記録モード

常時録画中に突発的な衝撃などを検知すると、常時録画を中断してイベント（衝撃）記録モードを開始します。

- イベント（衝撃）記録モードの記録時間は、衝撃検知前の 12 秒と衝撃検知後の 8 秒で 1 イベント 20 秒となります。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。



- イベント記録が終了する前にさらに衝撃を検知するとそこからイベント（衝撃）記録が 20 秒延長されます。

お知らせ

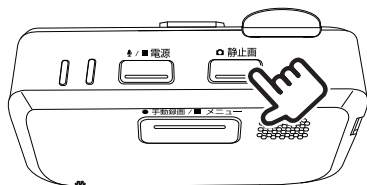
- ・イベント（衝撃）記録モードは最大 10 ファイルまで保存されます。10 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 10 ファイルを超えると記録は開始されません。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンに保存してください。

■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「EVENT」フォルダに保存されます。（→ P.19）

静止画記録

常時録画中に本機の「静止画」ボタンを押すと、静止画が記録されます。



- 静止画は最大 100 枚まで保存されます。
- 静止画の解像度は、動画の画質設定が「最高画質」、「高画質」、「標準画質」のいずれかに設定されているときは FULL HD(1920x1080) で保存されます。「長時間」に設定されているときは HD (1280x720) で保存されます。
- 画質の設定を変更したいときは、31 ページまたは 37 ページの動画画質の設定を変更してください。

お知らせ

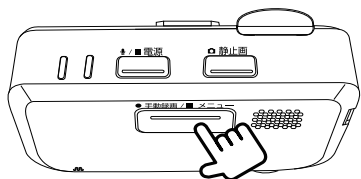
- 100 枚を超えると古い日時のファイルから順に消します。
- 録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。

■ 静止画ファイルの保存場所

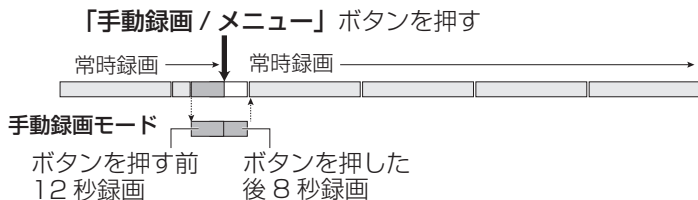
メモリーカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.19)

手動録画モード

常時録画中に本機の「手動録画 / メニュー」ボタンを押すと、常時録画を中断して、手動録画モードを開始します。



- 手動録画モードの録画時間は、「手動録画 / メニュー」ボタンを押す前の 12 秒と押しあつた後の 8 秒で 20 秒となります。手動記録が終了すると常時録画に戻ります。



- 手動録画が終了する前にもう一度「手動録画 / メニュー」ボタンを押すと、そこから手動録画が 20 秒延長されます。

お知らせ

- 手動録画モードは最大 20 ファイルまで保存されます。
- 20 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 20 ファイルを超えると録画は開始されません。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンに保存してください。

■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。(→ P.19)

電源オフ時の駐車録画モード

本機の電源がオフになると駐車録画モードを開始します。

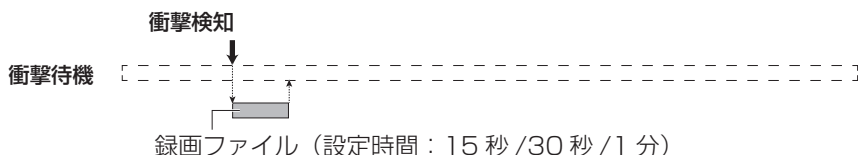
お知らせ

- 車両のキースイッチをオフにする前に、本機の電源ボタンで本機の電源をオフにしたとき (→ P.12) は、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には駐車録画は動作しないことがあります。

駐車録画モード

駐車録画モードは駐車中に車両に衝撃を受けると、本機の電源がオンになり録画が開始されます。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。

- 駐車録画モードの録画時間は、衝撃検知から約 30 秒 (お買い上げ時) です。録画時間は変更することができます。31 ページまたは 37 ページをご覧ください。
- 駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画がはじまります。
- 衝撃を検知する感度を設定することができます。設定値は 1 ~ 5 で、1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します) となります。設定方法については 31 ページまたは 37 ページをご覧ください。



お知らせ

- 駐車録画モードは最大 20 ファイルまで保存されます。20 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 20 ファイルを超えると録画は開始されません。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンに保存してください。
- 日産オリジナルナビゲーション (ディーラーオプション) のモニター接続時、駐車録画モードで録画された場合は、電源をオンにしたときに、「駐車記録があります」と画面に表示されます。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、駐車録画モードが動作することがあります。

■ 乗車 / 降車時の駐車録画を無効する

駐車録画モードは乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知して、駐車録画モードを行わないようにするため、駐車録画モードを一定時間無効にすることができます。

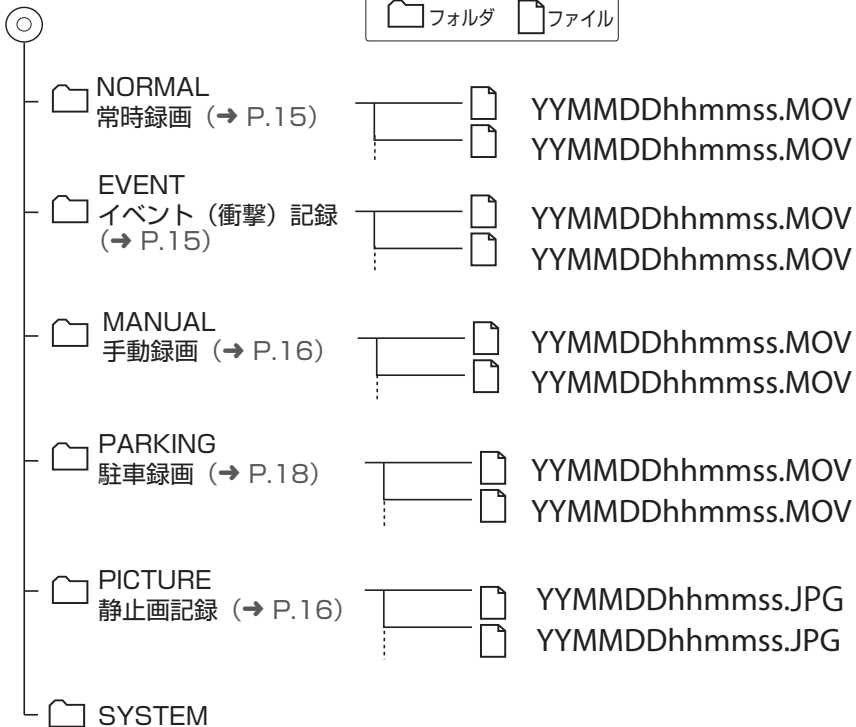
お知らせ

- お買い上げ時は乗車 / 降車時ともに無効時間は「OFF」に設定されています。設定を変更したいときは、31 ページまたは 37 ページをご覧ください。

フォルダ / ファイル構成

メモリーカードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

ルート (メモリーカード内)



お知らせ

- SYSTEM フォルダはファイルの位置情報などが含まれています。
SYSTEM フォルダだけ削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

■ ファイル名の表記について

ファイル名は録画または記録した年月日と時間で自動的に付けられます。

YMMDDhhmmss.MOV

YMMDDhhmmss.JPG

年 月 日 時 分 秒

ビューアーソフトで再生 / 設定する

DRIVE REVIEWER は、本機で記録した映像と音声再生する、設定を変更するためのパソコン用専用ビューアーソフトです。また、データのバックアップなども行います。

DRIVE REVIEWER の動作環境

| | |
|--------|---|
| OS | Windows 7 Service Pack 1 (32Bit/64Bit) Windows 8.1/8.1Pro (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows10 mobile は除く |
| CPU | Intel Core i3 2GHz 以上 |
| メモリ | 2GB 以上 |
| ディスプレイ | 1280x800 以上 |
| サウンド | Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能 |
| その他 | インターネット接続環境が必要です。 |

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google Earth は、Google Inc の商標または登録商標です。
- Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。

お知らせ

- ・ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声途切れたりする場合があります。その場合は、ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。

インストールする

- 1 <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/nissan/dvr> にアクセスしてインストーラーをダウンロードする
- 2 インストーラー「Setup.msi」をパソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーする
- 3 コピーした「Setup.msi」をダブルクリックする



- 4 セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める



ユーザーアカウント制御の警告ウィンドウが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

5 「完了」をクリックする

インストールが完了します。

準備

- 1 メモリーカードを本機から取り外し、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してPCに接続する
- 2 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「DRIVE_REVIEWER」 - をクリックして起動する

お知らせ

- DRIVE_REVIEWERを使用するときは他のアプリケーションは閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

ビューアソフトで録画または記録したファイルを再生する

メモリーカードを接続しているドライブを指定する






映像が表示され再生が始まります。

画面の操作



① 拡大表示機能

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
|  | 拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。 |
|  | 画面左上、右上、右下、左下を拡大（2倍）表示します。 |
|  | 表示される枠（①）を拡大したい位置に動かして、拡大率（②）をクリックするたびに1倍/2倍/3倍/4倍/5倍で拡大表示します。 [リセット]（③）を押すと等倍表示（1倍）になります。 |

② メニュー

ファイル

| | | |
|----|---------------------|---------------------------------|
| 開く | フォルダを選択する | 読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。 |
| | kmz/kml* にエクスポート | Google Earth に読み込むためのデータを出力します。 |
| | バックアップ | データをバックアップするフォルダを選択します。 |
| 終了 | ビューアソフトを終了します。 | |

*kml ファイルまたは kmz ファイルは Google Earth に読み込むためのデータです。

 (ドライブ一覧)

メモリーカードのドライブを選択します。

設定

| | |
|------|------------------------|
| 本体設定 | メモリーカードに設定ファイルを書き込みます。 |
|------|------------------------|

ヘルプ

| | |
|-------|-----------------------|
| バージョン | ビューアソフトのバージョンが確認できます。 |
|-------|-----------------------|

③ 映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

④ トラックバー / 再生時間











動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

00:00:12/00:02:00

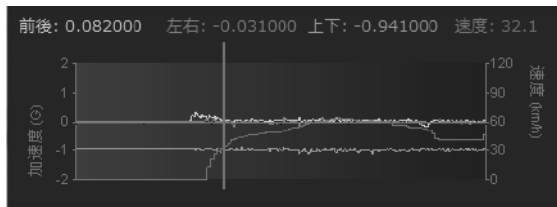
再生時間 / 総再生時間

⑤再生操作ボタン

| ボタン | 説明 |
|---|---|
|  | 前 / 次のファイルを再生します。 |
|  | 前 / 次のコマを表示します。 |
|  | 再生を停止します。 |
|  | 再生します。 |
|  | 一時停止します。 |
|  | クリックすると再生中の動画を静止画として保存します。 |
|  | クリックするたびに $\times 1 \cdot \times 2 \cdot \times 4 \cdot \times 8 \cdot \times 1/2$ と再生速度が切り替わります。 |
|  | 音量を調整 (0 ~ 100) します。 |

⑥グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度の大きさと速度の折れ線グラフです。



⑦再生中のファイルのパス

再生中のファイルの格納場所を表示しています。

mp4FEND_NOME\MOV\M1100519164750.MOV 160519164750_NMEA_Found .m

⑧スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



お知らせ

- 録画中にトンネルを走行しているときなど GPS が受信できない状態が約 15 秒続くと車両速度の表示は 0 (ゼロ) になります。
- 表示している車両速度はあくまで目安です。

⑨種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



「ファイル」、「静止画」の場合： ファイルの先頭位置の映像
 記録開始日時 / ファイルの格納場所
 「イベント」の場合：
 記録開始日時 / イベント名

①ファイル

すべての動画ファイルの一覧を表示します。

②イベント

手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画のファイルの一覧を表示します。

③静止画

静止画ファイルの一覧を表示します。

⑩地図表示ボタン

⑨の見たいたいファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **マップ ▲** をクリックしてください。



- ① 地図を拡大 / 縮小します。
- ② 緯度・経度を表示します。
- ③ 地図を再読み込みします。
- ④ 地図を別ウィンドウで開きます。
- ⑤ 地図を非表示にします。 **マップ▲** をクリックすると地図を表示します。
- ⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。
- ⑦ 広域の地図で表示します。
- ⑧ 経路

2日以上経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

| | | | |
|-----|---|-----|------|
| 1日目 | 青 | 5日目 | マゼンタ |
| 2日目 | 赤 | 6日目 | 水色 |
| 3日目 | 緑 | 7日目 | 黄色 |
| 4日目 | 白 | | |

- ⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。
- ⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

お知らせ

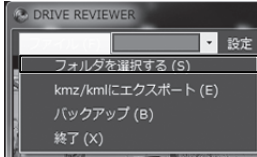
- メモリーカードの容量（常時録画）またはファイル数の制限（手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画）によりファイルが消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 起動直後やビル街、トンネル、高架下などの受信環境が悪い場所の走行や GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できずに、地図上での自転車位置ずれや速度が正しく表示されないことがあります。

Google Earth で使用するデータを出力して読み込む

お知らせ

- データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth をインストールしてください。Google Earth は、Google のサイトからダウンロードできます。

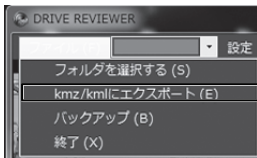
- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューワーソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 4 メモリーカードの Google Earth で使用するデータを出力するデータのフォルダを選ぶ



- 5 メニューの「ファイル」－「kmz/kml にエクスポート」をクリックする



- 6 保存先を選択し、保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



お知らせ

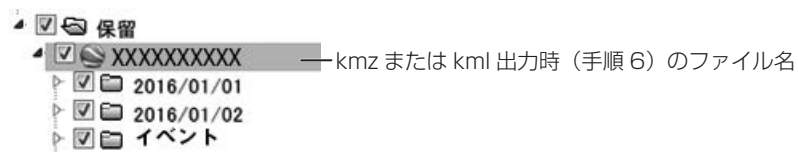
- kmz は kml ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth で読み込むことができます。

7 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

8 Google Earth を起動する

9 見たいファイルを選択する

画面左側に保留フォルダーと保存したデータのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



フォルダーのし点を外すと外したデータの表示が地図から消えます。

お知らせ

- Google Earth の操作については Google Earth のヘルプなどをご覧ください。

メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする

メモリーカードは容量の関係から、保存しておける映像の数が限られています。メモリーカード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどに定期的にバックアップしてください。ビューアソフトを使ってメモリーカードの記録データをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付いたまま保存することができます。

バックアップフォルダーを設定する

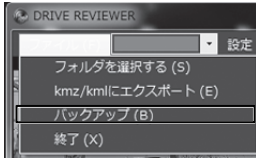
- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



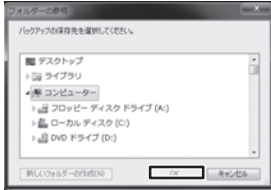
- 4 メモリーカードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



5 メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



6 バックアップする保存先を選択して、「OK」をクリックする



7 バックアップするファイルにチェックを付けて「実行」をクリックする



ファイル

最初はすべてのファイルに"レ"点が入っています。

バックアップしないデータは"レ"点をクリックして選択を解除してください。

お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべての"レ"点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべてに"レ"点が付きます。
- バックアップデータのフォルダー名は手順8でバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダー」を書き替えることができます。
- 「変更」をクリックするとバックアップ先を変更することができます。

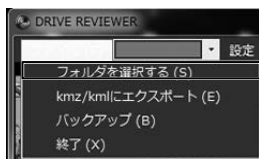
8 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする

お知らせ

- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイビデオ」または「ビデオ」（ご使用のWindowsのバージョンによって異なります）に設定されています。

バックアップした映像を見る

- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 3 バックアップしたデータのフォルダを選ぶ
- 4 見たい映像ファイルのフォルダーを選択する
再生画面が表示され、動画ファイルを再生することができます。

ビューアソフトで設定を変更する

ビューアソフトで本体の設定を変更することができます。変更した設定をメモリーカードに保存します。

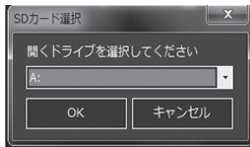
設定を保存したメモリーカードを本機に挿入し、電源をオンにすると自動的に本体の設定が上書きされます。

設定を変更する

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「設定」をクリックして「本体設定」をクリックする



- 4 メモリーカードを接続しているドライブを指定して「OK」をクリックする



- 5 各設定を変更する (31 ページ)

お知らせ

- メモリーカードに設定データがない場合、またははじめてご使用になる場合は、「設定ファイルが読み込めません」とメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてください。
- メモリーカードに以前の設定が保存されている場合、または本機のメニューで設定を変更した場合は、以前の設定が設定画面に表示されます。

■ 駐車録画の設定をする

「駐車録画設定」をクリックする

*: お買い上げ時の設定

| 項目 | 設定 | 説明 |
|------------------------------|-----------------------|---|
| 録画時間 | OFF/15秒/30秒* /1分 | 衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。 |
| 上書き保存 (常時録画と静止画 記録は除く) | OFF/ON* | 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。 |
| 感度設定 | 1/2/3*/4/5 | 駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3(標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します) |
| 降車時開始時間設定 | OFF*/30秒後/1分後 /3分後 | 降車時の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。 |
| 乗車前停止時間設定 | OFF*/30秒前/1分前 /3分前 | 乗車時の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。 |

■ 動画記録の設定をする

「動画記録設定」をクリックする

*: お買い上げ時の設定

| 項目 | 設定 | 説明 |
|-----------------|-----------------------------|---|
| 音声記録 | OFF*/ON | 録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。 |
| 上書き保存 (手動) | OFF/ON* | 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。 |
| 上書き保存 (イベント) | OFF/ON* | 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。 |
| 動画画質 | 最高画質 / 高画質 / 標準画質* / 長時間 | 常時録画モード、イベント(衝撃)記録モード、手動録画モード、駐車録画モードの画質を設定します。(個別に画質の設定はできません。) |
| 感度設定 | 1/2/3*/4/5 | 車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3(標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します) |

■ システムの設定をする

「システム設定」をクリックする

| 項目 | 設定 | 説明 |
|------|----------------------------|--|
| 通知音量 | OFF/1 ~ 5 (お買い上げ時は3です。) | OFF/1 ~ 5 (お買い上げ時は3です。) で報知音と音声ガイダンスの音量を設定します。 |
| 再生音量 | OFF/1 ~ 5 (お買い上げ時は4です。) | OFF/1 ~ 5 (お買い上げ時は4です。) で再生音量を設定します。 |

お知らせ

- ・音声ガイダンスは音量を消音 (OFF) に設定しても音声出力します。

6 「OK」をクリックする

設定をメモリーカードに保存します。

モニターに表示して再生 / 設定する

日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）のモニターに表示して本機で記録した映像と音声を再生する、または設定を変更することができます。またファイルの保護や削除なども行えます。

お知らせ

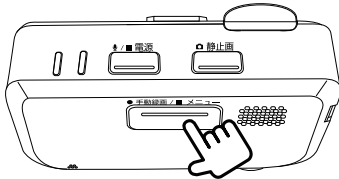
- 本機の画面を表示するには、日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）の「AV」キーを押して「VTR」にタッチします。操作についての詳細はナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
- 音声は本機のスピーカーから出力されます。

モニターに表示して録画または記録したファイルを再生する

1 モニターに本機の画面を表示する

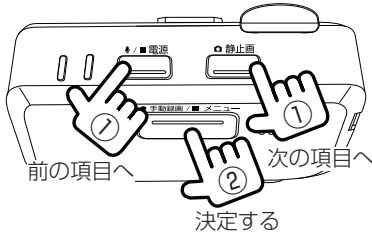


2 「手動録画 / メニュー」 ボタンを3秒押し続ける

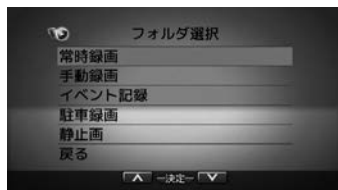
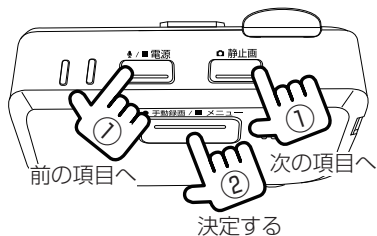


MENU(メニュー)が表示されます。

3 「ファイル再生」を選んで ① 決定する ②



4 再生したいフォルダを選んで (1) 決定する (2)



再生画面に切り替わり、再生が開始されます。

お知らせ

- ファイルを再生中は録画を停止します。

再生画面の見かた



操作ガイド

本機のボタンを押したときの動作を表示しています。



- ① プログレスバー：再生の進捗を表示します。
- ② 再生状態アイコン
- ③ 経過時間
- ④ 日付アイコン
- ⑤ 再生ファイルの年月日 時分秒
- ⑥ ファイル番号 / 総ファイル数

録画中の画面の見かた

モニターに本機の画面を表示できる場合は、録音中の画面は以下になります。



①録画アイコン

- : 手動録画
- : イベント（衝撃）記録
- : 常時録画
- : 録画停止中

②録画時間残り秒数

イベント（衝撃）記録、手動録画時のみ表示されます。

③エラーアイコンが表示されます。

- : 手動録画ができません。
- : イベント（衝撃）記録ができません。
- : 駐車録画ができません。

④静止画を保存したときに表示されます。

⑤音声記録

音声 ON 音声 OFF

⑥録画画質

UXP: 最高画質
 XP: 高画質
 SP: 標準画質
 LP: 長時間画質

ファイルを保護または削除する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、解除または、削除することができます。

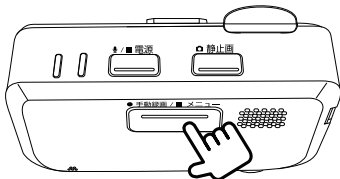
お知らせ

- 常時録画ファイルは保護できません。

1 保護または削除したいファイルを再生する（→ P.32）

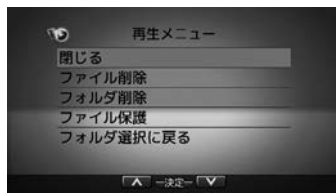
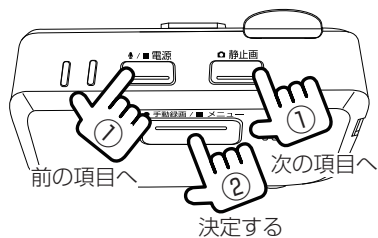


2 「手動録画 / メニュー」 ボタンを 1 秒押し続ける



再生メニューが表示されます。

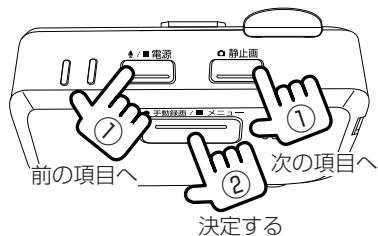
3 メニューの項目を選んで (①) 決定する (②)



| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 閉じる | 再生メニューを閉じます。 |
| ファイル削除 | 再生中のファイルを削除します。 |
| フォルダ削除 | 再生中のファイルを含むフォルダ内にある全てのファイルを削除します。 |
| ファイル保護 | 上書きや削除できないようにファイルを保護します。 |
| フォルダ選択に戻る | フォルダ選択画面を表示します。 |

確認メッセージが表示されます。

4 「OK」を選んで (①) 決定する (②)



お知らせ

- メニュー表示中は録画を停止します。

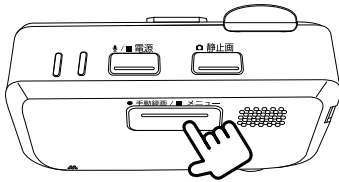
モニターにメニューを表示して設定を変更する

*: お買い上げ時の設定

1 モニターに本機の画面を表示する

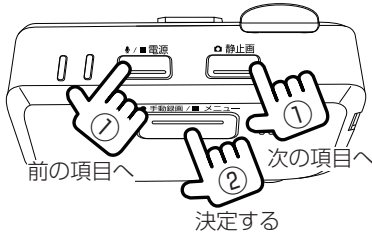


2 「手動録画 / メニュー」 ボタンを 3 秒押し続ける



MENU(メニュー) が表示されます。

3 メニューの項目を選んで (①) 決定する (②)



お知らせ

- 「戻る」を選択すると一つ前の画面に戻ります。
- メニュー表示中は録画を停止します。

4 手順 3 を繰り返して各項目設定する

設定 MENU(メニュー) 一覧

| ファイル再生 | | |
|--------------------------|--|---|
| 常時録画 | リスト画面から目的のフォルダを選択してファイルを再生します。 (→ P.32) | また、ファイル再生中には、ファイルの保護や削除も行えます。 (→ P.34) |
| 手動録画 | | |
| イベント記録 | | |
| 駐車録画 | | |
| 静止画 | | |
| 駐車録画設定 | | |
| 録画時間 | OFF/15 秒間 / 30 秒間 * / 1 分 | 衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。 |
| 上書き保存 (常時録画と静止画記録は除く) | OFF/ON* | 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。 |
| 感度設定 | 1/2/3*/4/5 | 駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します) |
| 降車時開始時間設定 | OFF*/30 秒間後 / 1 分後 / 3 分後 | 降車時の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。 |
| 乗車前停止時間設定 | OFF*/30 秒間前 / 1 分前 / 3 分前 | 乗車時の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。 |
| 動画記録設定 | | |
| 音声記録 | OFF*/ON | 録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。 |
| 上書き保存 (手動) | OFF/ON* | 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。 |
| 上書き保存 (イベント) | OFF/ON* | 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。 |
| 動画画質 | 最高画質 / 高画質 / 標準画質 * / 長時間画質 | 常時録画モード、イベント (衝撃) 記録モード、手動録画モードの画質を設定します。(個別に画質の設定はできません。) |
| 感度設定 | 1/2/3*/4/5 | 車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します) |
| システム設定 | | |
| 通知音量 | OFF/1 ~ 5 (お買い上げ時は 3 です。) | で報知音と音声ガイダンスの音量を設定します。 |
| 再生音量 | OFF/1 ~ 5 (お買い上げ時は 4 です。) | で再生音量を設定します。 |
| 出荷時設定 | 本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 | |
| システムバージョン | 本機のシステムのバージョンを表示します。 | |
| SDカード初期化 | 全てのファイルを消去し、SDカードをフォーマットします。 (→ P.38) | |
| システム更新 | 本機のシステムを更新します。(→ P.40) | |
| 閉じる | メニューを閉じます。 | |

お知らせ

- 音声ガイダンスは音量を消音 (OFF) に設定しても音声出力します。

メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、ファイルをバックアップしたりする際にエラーが表示される時は、メモリーカードのデータが破損している可能性がありますので、メモリーカードをフォーマットしてください。

フォーマットの方法は、専用サイトにアクセスしてフォーマットする、または本機が接続しているモニターが日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）の場合は本機の設定メニューを表示してフォーマットする方法があります。

お知らせ

- 基本的にメモリーカードのフォーマットは必要ありません。メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本機が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- パソコンに標準の SD カードフォーマットは使用しないでください。
- メモリーカードをフォーマットすると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

専用サイトにアクセスしてフォーマットする

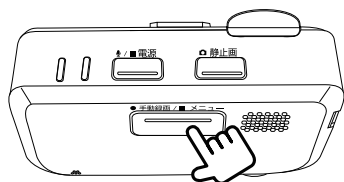
- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する
SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。
(1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、
専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/nissan/dvr> にアクセスします。
(2) 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
(3) 記述されている手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。
- 3 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動する
[スタート] → [すべてのプログラム] → [SDFormatter] → [SDFormatter] を選択します。
- 4 [フォーマット] ボタンをクリックする
選択されたドライブがメモリーカードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。
異なるドライブが選択されている場合は、[更新] ボタンをクリックし、メモリーカードを挿入したドライブを選択してください。
- 5 フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックする
- 6 [終了] ボタンをクリックする

モニターにメニューを表示してフォーマットする

1 モニターに本機の画面を表示する

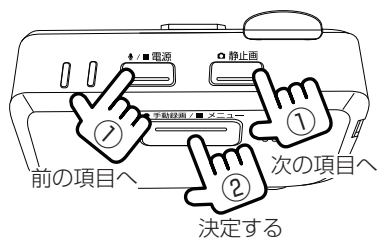


2 「手動録画 / メニュー」 ボタンを 3 秒押し続ける

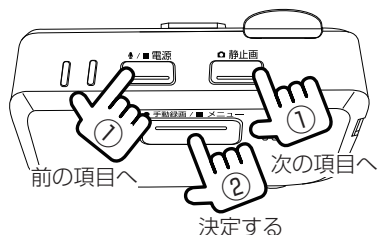


MENU(メニュー)が表示されます。

3 「SD カード初期化」を選んで (1) 決定する (2)



4 「SD カードを初期化しますか?」と表示されたら「OK」を選んで (1) 決定する (2)



フォーマットが完了すると「初期化が完了しました」と表示されます。

システムを更新する

本機のシステムを更新します。専用サイトにアクセスして更新する、または本機が接続しているモニターが日産オリジナルナビゲーション（ディーラーオプション）の場合は本機の設定メニューを表示して更新する方法があります。

アップデートに関する情報は、専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/nissan/dvr> をご覧ください。

お知らせ

- 本機のバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合はメモリーカードを挿入してもアップデートは開始しません。

本機のバージョンを確認する

ビューアソフトの設定画面で本機のバージョンを確認することができます。

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「設定」をクリックして「本体設定」をクリックする
- 4 メモリーカードを接続しているドライブを指定して「OK」をクリックする



設定画面が表示されます。画面左下に現在のドライブレコーダーのバージョンが表示されます。

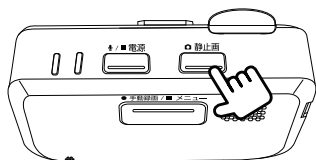


ドライブレコーダーのバージョン

専用サイトにアクセスしてシステムを更新する

本機のメニューをモニターに表示することができない場合は以下の方法でシステムを更新してください。

- 1 メモリーカードをフォーマットする
フォーマットについては 38 ページの「メモリーカードをフォーマットする」をご覧ください。
- 2 専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/nissan/dvr> にアクセスしてアップデートファイル「update.bin」をメモリーカードのルートフォルダーにコピーする
- 3 メモリーカードを本機に挿入する
- 4 本機の【静止画】ボタンを押しながら本機の電源を入れる



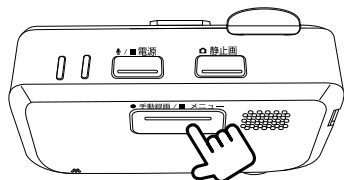
しばらく押したままにしていると記録 LED(青)が点滅しアップデートを開始します。アップデートが完了すると記録 LED(青)が消灯し、本機が自動で再起動します。

モニターにメニューを表示してシステムを更新する

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/nissan/dvr> にアクセスしてアップデートファイルをメモリーカードにコピーする
- 3 メモリーカードをパソコンから取り出し、本機に端子面を上にして挿入する
- 4 モニターに本機の画面を表示する

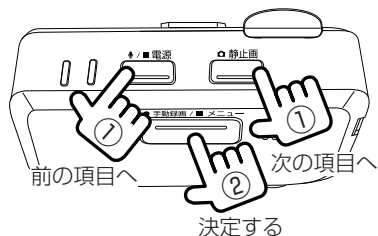


- 5 「手動録画 / メニュー」 ボタンを 3 秒押し続ける



MENU(メニュー)が表示されます。

- 6 「システム更新」を選んで (①) 決定する (②)



更新が終了すると「システムを更新しました」と表示され、本機が自動で再起動します。

よくある質問

■ 本体

| 質問事項 | 回答 |
|----------------------------------|---|
| 記録した音声小さい。 | 本機の録音機能は音声を録音する目的ではなく、映像の補助としての周囲の音を記録する目的のため、記録音量は低めに設定されています。もし、録音された音が極端に小さいようであれば、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われているようなことがないか、ご確認ください。 |
| 車両の電源を入れてもLEDが点灯しない、または電源が入らない。 | 本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| カーナビに本機のメモリーカードを挿入して、映像が再生できますか。 | カーナビでの再生は、メモリーカードの MOV (H.264 + LPCM) 再生機能があるものに限りです。ご使用のカーナビの仕様をご確認ください。 またカーナビの仕様によっては、再生できない場合もあります。 |
| 録画や再生がうまくできない。 | メモリーカードのフォーマットを行ってください (→ P.38)。それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店に相談してください。 |
| 報知音の音量小さい。 | ビューアソフト (→ P.31) または本機のメニュー (→ P.37) で音量を変更できます。 |
| 記録時間を変更できますか。 | 駐車録画モードの記録時間は設定で変更できます。他の録画モードの記録時間は変更できません。 |
| 記録時間を長くしたい。 | 別売で 16GB のメモリーカードをご用意しております。詳しくはお買い上げの販売会社にお問い合わせください。 |
| 録画または記録したはずの映像がありません。 | 本機は常時記録型の映像記録装置です。メモリーカードの記録可能時間や記録件数の上限を超えると、古い記録から上書き保存されるため録画または記録したファイルが無くなっていることがあります。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。 上書き保存しないように設定することもできますが、「上書き保存」の設定を「OFF」にしているときは、上限を超えるとエラーアイコン 34 ページを表示して、それ以上の記録または録画は開始されません。 |
| 走行中、頻繁にイベント（衝撃）記録モードの録画が実施されます。 | ビューアソフト (→ P.31) または本機のメニュー (→ P.37) でセンサー感度を調整することができます。 |
| 本体が熱くなることがあるが異常ではありませんか。 | 使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、異常ではありません。 |

| 質問事項 | 回答 |
|----------------------|--|
| 信号の色が記録されないことがある。 | 映像の記録周期と LED 方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。 |
| エンジンを切っても本機の電源が切れない。 | エンジンを切り、キースイッチがオフになっても本機の電源がオフにならない場合は、駐車記録モードが動作しています。駐車録画設定の駐車時間を「OFF」に設定しても電源がオフにならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| 本体が起動しません。 | お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| メモリーカードに映像が記録できません。 | <ul style="list-style-type: none"> • 本機に付属または純正のメモリーカードを使用していない可能性があります。付属または純正のメモリーカードを必ず使用してください。市販のメモリーカードでの動作は保証できません。 • メモリーカードに異常がある可能性があります。メモリーカードのフォーマットを行ってください（→ P.38）。ただし、フォーマットをするとメモリーカードのデータはすべて消去されます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。 • 本機の温度が高温になっている場合は、車内の温度を下げてください。保護機能が解除され録画ができるようになります。 |
| 記録時間が短く記録されています。 | 常時録画モードの映像が多く記録されていると、常時録画の時間は短くなります。また、メモリーカードにドライブレコーダーとは関係のないファイルが入っていても、記録領域が狭くなるため記録時間が短くなります。 |
| 音声ガイダンスや報知音をオフにしたい。 | ビューアソフト（→ P.31）または本機のメニュー（→ P.37）で通知音量を「OFF」に設定することでオフにできます。ただし、エラー通知の音声ガイダンスはオフにできません。 |

■ ビューアソフト DRIVE REVIEWER

| 質問事項 | 回答 |
|---|--|
| イベント（衝撃）記録モードで録画された動画を再生した場合に、再生時間が20秒未満のものがある。 | 電源をオンにした後すぐに衝撃を検知した場合や衝撃検知した後すぐに電源をオフした場合には、20秒未満の映像になります。 |
| 記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？ | 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。 |

| 質問事項 | 回答 |
|--|--|
| 記録した映像は、Windows Media Player等の汎用ソフトで見えることはできますか？ | 再生ソフトによっては再生できない場合があります。また、速度や位置などの情報は確認できません。 |
| ビューアソフトを消してしまった。 | 専用サイトからインストーラーをダウンロード（→ P.20）し、再度インストールしてください。 |
| パソコンにメモリーカードを挿入しても認識しません。 | メモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度メモリーカードやカードアダプターを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードアダプターからメモリーカードを取り出して、挿しなおしてください。カードリーダーについてはカードリーダー」に付属の説明書を参照してください。 |
| ビューアソフトが起動しない。 | ビューアソフトの動作環境をご確認ください。問題がない場合は、再度インストールしなおしてください。 |
| 再生ボタンを押しても映像の再生が始まらない。 | ファイルを読み込み直してください。それでも再生しないときはファイルが壊れている可能性があります。 |
| 再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> • ビューアソフト（→ P.31）または本機のメニュー（→ P.37）の音声記録が「OFF」になっている可能性があります。また、ビューアソフトの音量設定またはパソコンの音量設定が最小になっていないかご確認ください。 • 設定を変更しても音が出ない場合は、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われていないかご確認ください。 |
| 再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする。 | ご使用中のパソコンの動作環境が推奨する動作環境を満たしているかご確認ください（→ P.20）。パソコンのスペックが低かったり、他のアプリケーションが起動していると再生や音声が途切れることがあります。 |
| 地図の自車位置が実際とずれている。 | トンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず、位置がずれることがあります。 |
| 速度が実際とずれている。 | 速度は GPS の情報から取得しており、トンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。 |
| 動画画質の標準画質と高画質の違いはなんですか？ | 標準画質に比べ、高画質はより綺麗な画質で撮影できますが、録画できる時間が短くなります。 |
| スムーズに再生されない。 | DRIVE REVIEWER の他にアプリケーションが起動している場合は他のアプリケーションを閉じてください。 |

主な仕様

■ 本体

| | |
|---------------|--|
| 動作温度範囲 | - 20 ~+ 65℃ |
| 保存温度範囲 | - 30 ~+ 85℃ |
| 本体サイズ | W79 × H22 × D48 mm (マウントブラケット搭載時 H51mm) |
| 質量 | 97g |
| 電源電圧 (動作電圧範囲) | 14V (8.5 ~ 16V) |
| 最大消費電流 | 0.4A (電源電圧 14V 時) |
| G センサー | 内蔵、最大 4.0G、0.1G 単位 |
| GPS アンテナ | 内蔵、GPS 受信、グロナス非対応 |
| 記録媒体 | microSD カード (同梱：8GB p-SLC) |

■ 映像仕様

| | |
|----------|---|
| 映像素子 | 1/3 型カラー CMOS |
| 有効画素数 | 3M (センサー画素数 4M) |
| 撮影画角 | 水平 117° × 垂直 63° |
| 記録フレーム数 | 27fps |
| 画像サイズ | 最高画質：FULL HD (1920 × 1080) 12Mbps 高画質：FULL HD (1920 × 1080) 8.5Mbps 標準画質：FULL HD (1920 × 1080) 5.2Mbps 長時間画質：HD (1280 × 720) 3.2Mbps |
| 記録フォーマット | MOV(H.264+LPCM) |
| HDR | ○ (ON 固定) |

これらの仕様およびデザインは、お客様に予告なく変更になる場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

ソフトウェアについて

MD5 utility

/* crypto/md5/md5.h */

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction.

First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is $X^{32} + X^{26} + X^{23} + X^{22} + X^{16} + X^{12} + X^{11} + X^{10} + X^8 + X^7 + X^5 + X^4 + X^2 + X + 1$

Note that we take it "backwards" and put the highest-order term in the lowest-order bit. The X^{32} term is "implied"; the LSB is the X^1 term, etc. The X^0 term (usually shown as "+1") results in the MSB being 1

Note that the usual hardware shift register implementation, which is what we're using (we're merely optimizing it by doing eight-bit chunks at a time) shifts bits into the lowest-order term. In our implementation, that means shifting towards the right. Why do we do it this way? Because the calculated CRC must be transmitted in order from highest-order term to lowest-order term. UARTs transmit characters in order from LSB to MSB. By storing the CRC this way we hand it to the UART in the order low-byte to high-byte; the UART sends each low-bit to high-bit; and the result is transmission bit by bit from highest- to lowest-order term without requiring any bit shuffling on our part. Reception works similarly

The feedback terms table consists of 256, 32-bit entries. Notes

The table can be generated at runtime if desired; code to do so is shown later. It might not be obvious, but the feedback terms simply represent the results of eight shift/xor operations for all combinations of data and CRC register values

The values must be right-shifted by eight bits by the "updcrc logic; the shift must be unsigned (bring in zeroes). On some hardware you could probably optimize the shift in assembler by using byte-swap instructions polynomial \$edb88320 CRC32 code derived from work by Gary S. Brown.

GPSD

BSD LICENSE

The GPSD code is Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002 by Remco Treffkorn. Portions of it are also Copyright (c) 2005 by Eric S. Raymond. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:<P>

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.<P>

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.<P>

Neither name of the GPSD project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オープンソースソフトウェアについて

ビューアーソフトには、GNU General Public License, version 3 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。
<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/nissan/dvr>

About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 3 (GPLv3) and different copyright licensees, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv3 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below,
<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/nissan/dvr>

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取付け日から3年です。
ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでといたします。
お買い上げの販売会社から発行される「日産純正オプション部品保証書」に
必要事項が記入されているかお確かめのうえ、お客様の「車検証入れ」などに入れて
大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この説明書を再度ご覧になってお調べください。
それでも本機が正常に動作しないときは、お買い上げの販売会社にご相談ください。

お問い合わせは、下記の「日産自動車株式会社 お客様相談室」へ
お願いいたします。

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

日産自動車株式会社 お客様相談室

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号

0120-315-232

受付時間：9:00～17:00

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客様対応や品質向上のために
記録し活用させていただいております。

なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切
と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さ
まにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車 Web サイト
(<http://www.nissan.co.jp>) にて掲載しています。

NISSAN



B5A-1653-50